
2017 年度 第 4 回 音環境運営委員会 議事録 (案)

記録：石塚，富来

A. 日時 2018 年 3 月 8 日 (木) 17:00~18:40

B. 場所 建築学会 304 会議室

C. 出席者 古賀貴士 (主査)，池上雅之，石渡智秋，漆戸幸雄，大嶋拓也，岡野利行，川井敬二，
佐久間哲哉，坂本慎一，田中学，富田隆太，富高隆，中澤真司，羽入敏樹，平光厚雄，
山内崇，石塚崇 (幹事)，富来礼次 (幹事)

欠席者 佐藤洋，濱田幸雄
(敬称略)

D. 提出資料

資料 4-0：2017 年度第 3 回音環境運営委員会議事録 (案) . pdf

資料 4-1：420180308_環境工学本委員会 (第 4 回) 資料. pdf

資料 4-2：2018 環境工学委員会予算配分 (音環境) 修正. pdf

資料 4-3：20180308_音環境に関する法規制・規格・基準の現状改訂 (目次案 v1) . pdf

資料 4-4：20180308_書籍改訂に関する検討結果 (修正版) . pdf

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項：2. 「土木工学建築学委員会」→「土木工学・建築学委員会」へ修正
- ・修正事項：2. 「日本建築学会大賞業績候補」→「日本建築学会大賞候補」へ修正
- ・修正事項：2. 「木村健一先生」→「木村建一先生」へ修正
- ・修正事項：4. (5) 「BIM・CDF パーツ開発応用小委員会」→「BIM・CFD パーツ開発応用小委員会」へ修正
- ・修正事項：4. (7) 「実務的騒音対策指針 (第二版)」→「実務的騒音対策指針 (第二版)」へ修正
- ・以上を修正して承認

2. 環境工学本委員会報告 (資料 4-1, 4-2)

- ・2017 年度日本建築学会 (中国) の概要について。
⇒音環境運営委員会の「30 歳未満による発表題数割合 47%。
⇒若手優秀発表賞は対象 40 件中 4 件。他分野と同程度。
- ・2018 年度竹中育英会建築研究助成候補募集、2018 年 3 月 30 (金) 17 時必着。
⇒応募者数に応じて採用者数が増減するため積極的な応募の依頼。
- ・2017 年度調査研究委員会活動成果報告。環境工学委員会全体で刊行点 1 点、講習会 1 回、催し物 16 回。
- ・岩田委員長による 2016-2017 年度環境工学委員会活動報告。ビジョン 2025 との対応について、等。
⇒環境工学予算は全体の 20%程度。AIJES の策定・出版。女性研究者比率 15. 2% (2016 年)。
- ・2018 年度大会学術講演会プログラム編成会議について。4/20 (金) 13 時～。各小委員会から参加予定。
- ・2018 年度大会学術講演会プログラム編成方針 (案) を確認。
- ・2018 年度大会研究協議会「情報化の発展がもたらす建築および建築環境分野の変革」。2 日目午後。
- ・2018 年度大会研究懇談会「これからの環境・設備分野のための留学生の受入と育成-受身の国際化から攻めの国際化へ-」。3 日目午後。音環境からグイエン ツ ラン氏 (島根大) が発言者として参加。
- ・2018 年度大会学術講演会若手優秀発表賞実施要領・要綱の確認。
⇒対象が「29 歳以下」→「30 歳未満」へ変更。

⇒前年度までの受賞者（約 65 名／年）との重複チェックはコンピュータで行う予定。

- ・ 2018 年度大会学術講演会環境工学懇親会は 9/5（水）を予定。詳細は今後連絡予定。
- ・ AIJES の査読について。日本建築学会環境基準総則により作成担当者を含まない専門家グループによる査読必要。

⇒「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説」の査読者選定依頼。資料 4-1、41 頁記載の委員以外から選出。同 40 頁記載 4 名の候補者承認。

- ・ AIJES の改定、確認、廃止について。原則 5 年で検討を依頼。ただし、必要が認められた場合は随時。AIJES の Web 化も含めて検討を行う。

⇒「建築設備管理ガイドライン (AIJES-B001-2008)」の改定、確認、廃止について検討依頼。廃刊で回答。

⇒継続検討依頼。Web 化も含めて検討。

- ・ 土木工学・建築学委員会、環境工学連合講演会について。2018 年 5 月 22 日（火）「レギュラーサイエンスと環境工学」。

⇒幹事の負担は大きいですが、参加者も多く、講演者の利点も多いため今後も継続する。

- ・ 予算執行について。音環境運営委員会関連は 99%執行済み。ただし、他分野で余剰があるため、必要に応じて申請を。

- ・ 2018 年度予算配分について。環境工学本委員会 2,891,000 円、音環境運営委員会はそのうち 558,000 円。詳細は資料 4-2 参照。

- ・ 建築学会大賞、奨励賞への積極的な応募の依頼。応募者数に応じて受賞者数が決定。特に奨励賞はインパクトファクターが付いている論文誌であれば建築学会論文集以外でも応募が可能。

3. 審議事項

- ・ なし

4. 各小委員会・WG の活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・ 2/21 第 4 回開催。床衝撃音のバングマシンとゴムボールの L 数と A 特性床衝撃音レベルの関係性について継続検討。2つの測定機関の結果に大きな傾向の違いが無いことを確認。悪いデータと良いデータの例をもう少し増やしたいので、今後データの提供を求めている。ボールによる床衝撃音レベルの予測について各研究機関が使用している予測手法によるラウンドロビンテストを今後実施予定。

- ・ 固体音検討評価 WG

⇒1/30 開催。詳細については次回報告。

(2) 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ メール審議。今年度活動成果報告書に関する議論。今年度中にもう一度開催を調整中。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・ 1/19 第 5 回、3/5 第 6 回開催。活動成果報告についてメール審議。
- ・ 2/28 来年度大会 OS 概要締切、応募 6 件。審査を実施し、全て採用を決定。
- ・ 音環境規準検討小委員会から依頼の A 特性評価の可能性と課題について。S/N が不十分だった場合の対処法について、既存データを用いて壁の構造毎の検討を継続。
- ・ 今後、インテンシティ測定についてこれまでの取組みの整理とこれからの方向性について討議を進めたい。

(4) 室内音響小委員会

- ・ 1/25 第 4 回開催。引続き室内音響の啓発活動としてのシンポジウム、コンテンツ作成等を検討。
- ・ 3/12 第 5 回開催予定。

・インパルス応答予測・計測 WG

⇒ サンプル音源の分析を各委員で実施中。MTF 算出におけるフィルターによる違いについて分析中。

・スピーチプライバシーWG

⇒ AIJES へ申請する方向で準備実施。春頃案を作成、小委員会で議論後、夏頃に申請予定。

・子供のための音環境 WG

⇒ 保育園の園長先生との意見交換、保育園の実地調査実施。

(5) 音響数値解析小委員会

・1/11 第3回開催。大嶋主査および日建設計長瀬氏による空気調和・衛生工学会 BIM・CFD パーツ開発応用小委員会の沿革や BIM とシミュレーションに関する話題提供・議論。カーペットの吸音率・垂直入射インピーダンス測定について、各大学による測定結果について議論。

・3/8 第4回開催。これまでの音響数値シミュレーション、環境シミュレーションの実務適用についてのゲストスピーカーとの議論とりまとめ。

(6) 音環境規準検討小委員会

・12/21 第4回、2/23 第5回実施。引き続きゴムボール衝撃源による重量床衝撃音遮断性能の評価に関する文献調査実施。スピーチプライバシーに関する新規 AIJES について清水先生より概要を紹介頂き議論。今後の AIJES の展開について討論。

・学校施設の音環境保全規準・設計指針改訂準備 WG

⇒ 2/6 開催。4月より企画刊行小委員会へ移行。

⇒ 9月のドラフト完成を目標に執筆活動を進めている。

・次回 4/9 開催予定。

(7) 企画・広報WG

・1/30 第5回、3/6 第6回開催。「音環境に関する法規制・規格・基準の現状」改定について、2007年版以降に変わった内容を追加して改訂版目次案作成（資料 4-3）。SWG2（性能評価）、SWG3（JIS/ISO）の題目について 2007 年度版から一部修正して仮題とした。来年度詳細について議論を進める。

・「実務的騒音対策指針（第二版）」（以下、既刊）の改訂について、WG3 回開催を経て議論した結果をまとめた（資料 4-4）。WG としてはアップデートが必要かつ急務であると判断。今後の改訂等に備えて権利関係をクリアにするために、有用性の高い前半の計算方法等について新たな書籍或いは AIJES として刊行することを要望する。新規書籍の位置付け、既刊との相違点については慎重な議論が必要。刊行にあたっては、人選、体制の構築、スケジューリング等で音環境規準検討小委員会と運営委員会の協力をお願いしたい。加えて、設計計画パンフレット 4「建築の音環境設計<新訂版>」のアップデートについても議論がされた。他書籍との位置付けを踏まえ、場合によっては上記新書籍との統合も検討対象とする。

・以下、上記に対する討議内容。

⇒既刊の刊行後 20 年経っており、今後定期的な改訂の仕組みに乗せる為、AIJES としての刊行を要望する。

⇒単なる引用ではなく、既刊前半を包含しつつ、新たな内容や解説を追加する形を考えている。

⇒今後の改訂等に備えて著作権を学会帰属とすることが望ましい。AIJES の著作権帰属については要確認。

⇒今後の新たな AIJES も含めて、過去の有用な書籍を学会としてどう活かしていくのか議論が必要。AIJES

電子化も考慮する必要あり。既刊からの引用部分については著作権料を支払い引用する方法も考えられる。

⇒既刊の表現方法にオリジナリティはあるが、計算式自体には著作権は無い。新たな表現方法で記述するのであれば、引用とはならないのでは。

⇒どのような形でアップデートするにせよ、既刊の執筆者に話をする必要はある。

⇒PDF が唯一の媒体ではない。授業や実務で使い易い形態について議論を深めても良いのでは。

⇒執筆者の人選については、企画・広報 WG と運営委員会主査・幹事で検討を進める。

・次回 5/25 開催予定。

(8) 住まい方マニュアル刊行小委員会

・著者校正 3 回を経て原稿を完成。坂本先生、橋本先生に査読頂いている（査読期限 3/22）。査読意見の反映後、運営委員会の承認をメール審議にてお願いしたい。YouTube 動画の QR コード埋め込み予定。動画の編集作業を進めている。

(9) 司法支援建築会議普及・交流部会について（中澤委員）

・1/15 第 3 回開催。会報は 8/20 発行予定として各先生方に執筆依頼。大会に合わせて第 8 回建築紛争フォーラムの開催を企画。テーマ：「小規模建築に関わる建築紛争の現状と課題」。第 19 回講演会企画（11/27 or 29@建築会館ホール）。テーマ：「地盤沈下・傾きをめぐる建築紛争の実態と課題」。

5. 他学会・研究会の予定

(1) 日本音響学会・建築音響研究会

・3/30@浦安音楽ホール, 4/27@東工大, 5/28@小林理研, 6/29 北九州市立大, 7/24, 25 北海道大（電気音響、聴覚、音響教育との共催）

(2) 日本音響学会・騒音振動研究会

・3/9@金沢大, 5/9@名城大, 6/13@旭化成住宅技術研究所（予定）

6. その他

・情報提供（平光委員）：JIS A 1418-part2 は、本年度中を目標に改訂作業を進められている。建築基準法 30 条、天井裏の遮音構造について第二項追加という形で閣議決定され改正作業が進められている。

・情報提供（古賀主査）11/12 から一週間、松江で ISO TC43 の会議が開催予定。

・次回開催予定：未定（環境工学本委員会の日程確定次第連絡）

以上